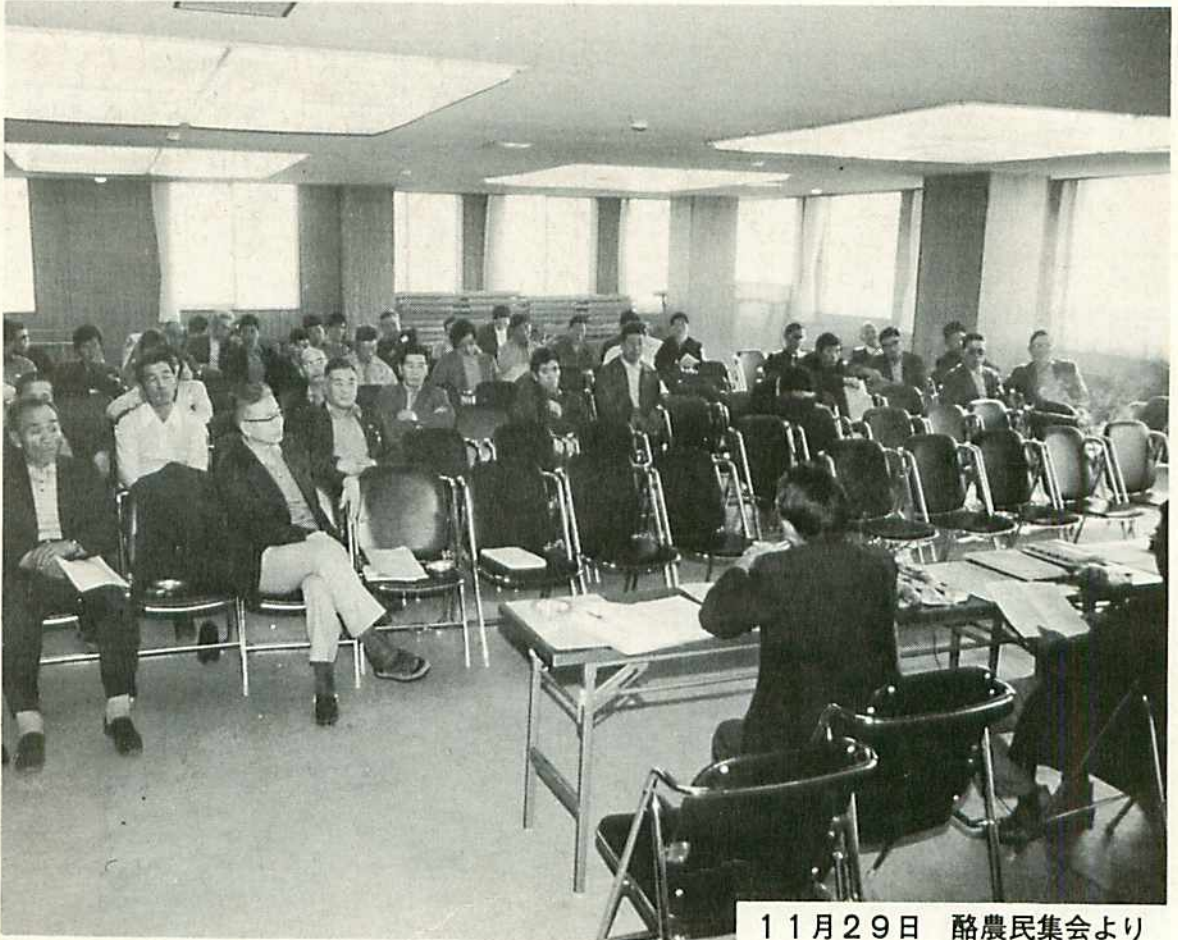


(1) 組合だより

組合だより

発行所 中標津農業協同組合・中標津町農業共済組合

発行 昭和52年12月1日 第46号 印刷・アート印刷株式会社



11月29日 酪農民集会より



十二月に入り
ことしも間も
なく暮れよう

としているが、この一年の国内経済は経済不況から前年にも増し企業倒産、雇用悪化など企業の経営格差現象が著しい。経営体質の改善が農業を含めて迫られている現状である。さて当管内の農業は牛乳の著しい伸長と共に幸いにして平年作であり、夫々作柄が異なるとは云え無事収穫も終わったことと思うが結果は如何々であろうか。経営コストの面で重圧となるのが農機具の負担、農機具の節約運動の必要性、修理整備施設の充実と共に購買方策が大きな課題、なかなか大変な事であるが、系統的にも今後重点に取組む考え方である。新酪事業では根室管内的なものとして食肉処理施設を明年度完成を目標に、又系統による農機具修理整備工場の充実、或いは副産物の価値を高めようと云う考え方から肉牛牧場など検討に入っている。これも大変なことであるが将来的なものとして自からも自衛する方策が必要となっている。十二月は又組助等負債の精算期でもあるが、十月末の組助状況は貸し残が三億、預り残が三億五千万であり販売代の伸びと共に負債の長期化により目下のところ昨年より好転、夫々お考えになっていると思うが、精算をされて明年に備えるようご努力をお願いしたい。

旧交を暖め語り合う

元役員、元参事との懇談会

現理事と監事で組織されている「中標津農協役員協議会」で今年は大先輩である元役員と元参事の皆さんが集まっていたいただき懇談会の機会をもっては」という意見が賛同をうけ、十一月十五日に中標津で開催されました。

今回は、中標津町内在住者のみに案内をし、二十八名の人々が集まってくれました。

昭和二十三年に設立された農協のその時の役員、また、設立発起人となってご苦労された先輩、戦後の混乱期を安定経営に向けてくれた先輩、幾度も冷害のパンチをうけながらも頑張ってくれた先輩、ばれいしよの生産技術をあげてくれた先輩、酪農発展にたゆまざる努力を続けてくれた先輩の皆様が時間の経つのを忘れて話しをしていました。

この町内に在住していながらも十数年ぶりで顔を合せた人もおりました。

すでに他界された方もおり、役員が二十四名です。

昭和二十三年に十八名の役員を初めて選出して以来、十一期目となり、その間に役員を経験された方は七十九名です。

設立以来三十年も経過しますと親子で役員を務められた方が三組もあり歴史の永さをしられます。

過去を語り、未来に提言もあり各人が往年の若き日に戻り、論じ合った一日であり、参会者の方々

もよき思い出を残したことでしよう。



現役員と元役員で記念撮影

注意

乾草牧草の発火

既にご承知の方が多いと思いますが、根室管内で三件発生しています。発火の条件には次のようなことが考えられますので注意して下さい。

- 一、水分35%程度で乾燥不十分なもの
- 二、特に二番草が発火している。
- 三、D型ハウスなどに積重ねたもの。
- 四、ロールペーラーによるもの
- 五、空気の流通が悪い。

以上のような場合が発火しやすいようです。

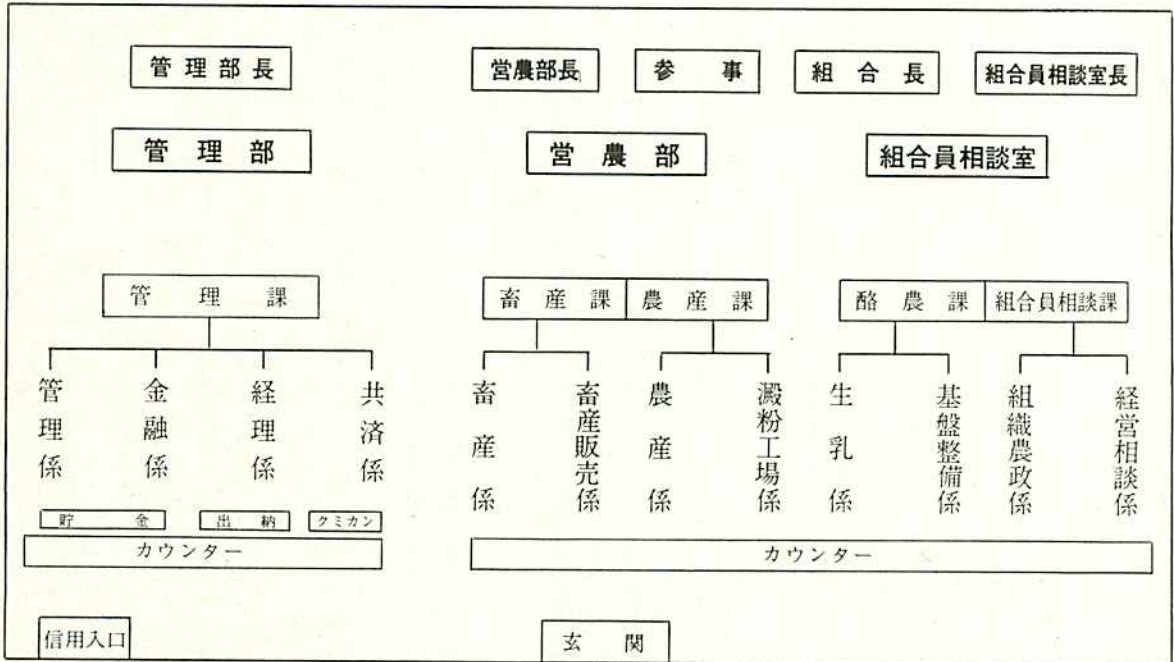
温度が60度C以上になると炭化が始まり発火するといわれています。乾燥不十分ですがロールペーラーを使用した人は発熱の状況を手で確かめて見て下さい。

年末、年始の牛乳集体制

年末年始の牛乳集荷は平常通り行いますのでおしらせを致します。

事務所内の 配置が 変わりました

組合員各位の要望でもありました。資材店舗が現事務所裏にこのほど完成し、営業いたしています。これに共い、事務所内で執務していた購買部、生産資材課の職員が資材店舗内事務所に移動いたしましたので事務所の机の配置が次の様に変更いたしましたのでお知らせします。



12月・1月

天気予報

札幌管区気象台

▼十二月 寒暖の変動が大きく高気圧におおわれ、寒さの和らぐ日がありますが長続きせず、冬型の気圧配置の日が多い見込みです。日本海側では雪が降りやすく、太平洋側では晴天の日が多いでしょう。平均気温は平年並み。降水量は日本海側は並まないしやや多く。太平洋側はやや少ない。

▼一月 大陸の高気圧が時々強まり寒くなる期間があまりましよう。日本海側では一時大雪の降る恐れがあります。太平洋側では晴天の日が多いでしょう。また寒さも和らぐ日もあって、寒暖の変動が大きく見込みです。平均気温は平年並みなしやや低く、降水量は日本海側で並まないしやや多く、太平洋側でやや少ない。

お知らせ

年末、年始の休業について

今年も残すところあと一カ月となりまりました。農協関係の年末年始は次の通り休ませていただきますが明年も今年に倍しての御利用を心から御願ひ申し上げます。

★ストアー
十二月三十一日午後三時まで営業。
一月七日から営業。

★資材店舗
十二月三十一日～一月六日まで。

★事務所 十二月三十一日～一月六日まで。

中標津農業協同組合

獣医師から一言

乳牛の内科 (2)

雪印中標津工場 芳野 誠

高能力牛とはどんな乳牛でしょうか。ある人は乳量六、〇〇〇kg以上とか、又ある人は七、〇〇〇kg以上の乳量があればいけないとかいろいろ見解があります。もちろん乳量が多いことに越したことはありませんが、見方をかえ

ると飼料を効率的に利用して牛乳を生産する牛が本当の高能力牛と言ふべきかもしれません。

「乳牛の病氣」という観点から見るとこの為に丈夫な臓器をもつた牛でなければいけないわけです。前号で述べた様に乳牛は膨大な消化器をもっていますから、この器管の病氣は数多くあります。(例えば、食道梗塞、鼓脹症、胃、腸炎、第四胃変位……)

けれども、とにかく乳量を上げるためにはとんだん喰い込ませ、これに耐える丈夫な消化器でなければいけないのです。

前回は、健康時の状態を若干述べましたが、今回は基礎的になろうと思いますが、胃を中心とした事柄について書きましょう。

◎乳牛の胃は四つあります。

あたり前のことですが、このことが重要なことなのです。食べた

飼料は食道から第一胃に入り一定時間後に再び口にもどり反芻されます。反芻された飼料は、又第一胃にもどり微生物の働きで更に分解されます。

第一胃の容積は二〇〇リットルに及び、その中にある内容物の量は、ほぼ体重の一〇～一五％程度に相当するものです。

この莫大な容積は、しばしば重大な影響を与えます。例えば前号の鼓脹症の様に異常発酵をし、第一胃の運動を止めてしまいます。

又、第一胃はある程度の長さのセンイの刺激によってその運動を活発にしますから、センイの少ないものを多給すると働きは鈍ってきます。

濃厚飼料などの大量の喰い過ぎでは食滞になり、反芻も全くなくなります。

この様に第一胃がしっかりと働いて反芻が行なわれることが消化をする第一歩なのです。

第一胃内である程度消化されて残った飼料片や微生物類は第二胃に入り、更に第三胃に移ります。

第三胃では水分と養分の吸収がありその後第四胃に移ります。ここではじめて、消化液による消化、主としてタンパク質の消化が行われます。

更に未消化のものは小腸で消化され大腸、直腸を通って排泄されます。

◎第一胃の消化について

第一胃には無数の微生物が生存

して、この微生物のおかげで粗繊維のほぼ一〇〇％近くが消化されます。この微生物は飼料の種類でそれぞれ異なりますから飼料が変わるたびに微生物の種類も変わってしまい、消化に大きく影響します。ですから同じ種類の飼料を通年給与することは望ましいことです(乾草とかサイレージ)

飼料の急激な変化は第一胃内発酵が異常に増えると同時に第四胃以下の負担が増え、種々の消化障害を起こしてしまいます。

粗繊維が少く、例えば濃厚飼料を多量に与えると第一胃から未消化のまま「こぼれ落ち」ることがあり第四胃以下に移行する飼料成分が増え小腸や大腸で消化されるでん粉質が増えます。こぼれ落ちが多くなると小腸や大腸にかかる

消化の負担が増え、病氣の要因になってきます。

◎第一、二胃は協力して運動をし、あたかもキャッチボールをやるように両者間で内容を出し合い第一、二胃の内容が攪拌されます。この第二胃の収縮運動は実に強烈なものなのです。

ところで、乳牛の習癖として最初は飼料を充分に咀嚼しないで飲みこむものですからしばしば金属物を一語に飲みこんでしまいます(くぎ、針金、ナイフ……)

そこで第二胃は強烈な収縮運動をするのですからその際不幸にして第二胃に尖鋭な異物があつたとすると第二胃の壁をつき破り、近くの横隔膜、更に心臓までに貫通してしまうのです(創傷性心のう炎等)

◎第四胃変位

この病氣は、第四胃が正常な位置から移動して第一胃の隣に移ったり或いは右側に上がったたりするもので、食欲がなくなり重篤なものです。従来は粕酪農地帯の病氣と言われていましたが、近頃は当地でも見られるものです。これは前述の「ある程度の長さ」に達しない粗飼料の給与によるものとも思われます。(例えば、細切り過ぎるサイレージ濃厚飼料の多給、線維の少ない飼料とか)

交通安全運動

安全運転5つの誓い

- ▶ 飲んだら乗らない 飲むなら乗らない。
- ▶ スピード制限を守り暴走運転しない。
- ▶ 前方を確認し無理な追越しはしない。
- ▶ 歩行者とくに子供、老人の安全を守ります。
- ▶ 車間距離を注意しわき見運転はしない。

第1回受賞者

(俣落)

中標津農協から阿部さん

—根室管内農業賞—



受賞者のみなさん (左から2人目阿部さん夫妻)

「根室管内農業賞」の第一回表彰式が十一月十九日根室農業会館で行なわれ、中標津農協から阿部幸一さん(俣落)が選ばれ、表彰状と記念品が贈られ、功績がたたえられた。

阿部さんは、昭和五年から町内において農業経営を従事、地道ながら永年の蓄積の中で経営の近代

化を進める一方、酪農の基盤を作るため、自ら地域の酪農振興会、酪友会の役員を永年に亘り努めるとともに農業共済組合の理事、監事として酪農の基盤である乳牛の改良に尽力し、酪農経営の発展に多大の貢献をした。



聞きとり方式による調査

生産費調査実施する

青年部員を対象に46戸

五十二年度牛乳生産費、五十一年度放草生産費調査を酪対役員、青年部員を対象に実施した。

この調査は、要求乳価算定、経営改善対策、課税対策の基礎資料として北農中央会が毎年行っている。

調査の結果が出ましたら組合だよりにて報告いたします。

五十二年度牛乳生産費、五十一年度放草生産費調査を酪対役員、青年部員を対象に実施した。

この調査は、要求乳価算定、経営改善対策、課税対策の基礎資料として北農中央会が毎年行っている。

調査の結果が出ましたら組合だよりにて報告いたします。

生産資材店舗兼倉庫落成

★生産資材店舗兼倉庫の建設を昭和五十一年度に計画し土地が確定せず実現に至りませんでした

が本年七月に中標津町役場との土地が解決し、九月一日より丸彦渡辺建設(株)が施工し、十一月十七日に落成致しました。

★生産資材店舗兼倉庫の落成に併い、農協ストアにありました

資材店舗、旧農協倉庫、購買部営農資材課は十一月二十四日(木)から下記に移転し業務にあたっております。

★いままでも農協事務所と倉庫が離れ不便をかけておりましたが、

生産資材店舗兼倉庫の完成

で搬出に迅速化されますので今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



落成した資材店舗全景

一日貯金

各賞の抽選

行なわれる

先に実施しました一日貯金の貯金高実績については十一月号のお知らせにしました通りですが、先日の理事会において御協力いただきました参加者に、金賞、銀賞、銅賞の各賞の抽選が行なわれ、次の方々が当選いたしました。

農協貯金係窓口で賞品を渡しますので受けとりにきて下さい。

●金賞

西村稔雄、笠原フサ子、臼井久良子、目黒セエ子、笠原金吾、清水和夫、滝ヶ平静子、大山富雄、武田文子、岡きみ子

●銀賞

牛田卓之、成田武、桜坂信子、正城武、山田勝二、斎藤ハジメ、樺礼子、伊藤トク、中条由治、加藤敏子、共済組合、田中俊秋、秋山美佐子、奥田ハツエ、遠田和子、高松春江、森島倉雄、鎌重カオリ、高藤昌之、齋藤別

●銅賞

岡部敏子、吉村ふぢ、西崎兵八、都合正一、高橋ノブ、森信子、佐藤クニ子、板橋松寿、井口精市、山崎英夫、藤田清、伊藤松子、笠原嬉代美、高橋八百松、根岸民子、佐藤幸子、磯西千恵、小針チヨ、堤洋子、高橋絹子、山田輝男、橋ノ口嘉朗、清水良雄、上村敏枝、半沢利津子、熊倉初日、向館金吾、松本喜美子、上村連二、北村一仁、須藤スイ、駒井義一、大橋よし子、木村洋子、上村ふつ、相沢豊子、後木章、上村弘子、井上勝之、加藤繁、森田与志子、井上真紀、遠藤芳子、小林佐枝子、大野富夫、佐藤清、奥田勝佳、浜谷嗣人、五十嵐徳治、古瀬春枝、富樫幸子、柳田みよ子、藤原トク、宮脇節子、国見トミ子、佐藤まつよ、国見実、阿部幸一、高平吉代、中塚文夫、滝ヶ平光男、高橋昌信、畑宏幸、佐藤ヒデ、金子安有、服部一好、木村武雄、松村晴由、佐々木ミヨ、加藤ハツエ、阿部俊勝、亀代きよえ、高橋利春、長崎良夫、秋山治美、桜坂欣一、田代良子、中田キサ、出上美津恵、佐藤良子、藤田貞子、林茂男、川端芳子、畑里美、蛭名秋彦、杉本桂子、鈴木ツルヨ、小林ハツ、羽島雄司、高平美恵子、久保千代子、上村君代、川崎ハナ、湯山俊子、遠藤サト、長縄鏡鎮、岩住静代、及川咲子、宮脇みつ子、安田淳子

(7) 組合だより

除雪センター長名簿

地区	氏名	電話番号
依中	山本正八	2-5268
依橋	久本一雄	2-5209
共成	沢渡定良	2-5223
南中	吉川晴久	2-8308
武佐	秋山実太	2-6232
上武佐	吉田徳二郎	2-5167
開陽	高平幸太郎	2-6326
"	山田良太郎	2-6266
協和	小林茂夫	2-8298
豊岡	望月幸夫	2-8173
当幌	山川健三	2-8258
第二俣落	佐伯征次	2-7307
俣落	服部一好	2-7168
新生	田代昭	2-7288
武佐	土井上友一	2-6217
俣落	半沢勇雄	2-7266
中標津	中標津農協	事務所 2-3275 高橋課長 2-3311

除雪計画決まる

酪農課

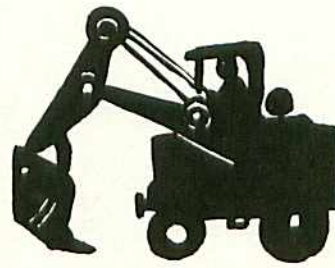
中標津町の除雪計画が、このほど開かれた。除雪センター長、道路愛護組合長会議で審議された。基本的には例年と全つく同じであるが、除雪のスピードアップを図るため、ブルドーザーを減らし、タンク車等の増車を見込んで居る。尚次の事項について特に申しあいがなされたので、組合員各位の御協力をお願いします。

(1) 降雪前に道路側溝の雑草、立木の除去を実施してほしい。

(2) 私道の取付に目的を立てようにしてほしい。

(3) 私道の除雪は出来るだけ自分で行うよう。特にタンクローリーの車廻りは各自で行ってほしい。

(4) 除雪作業により破損が予想される



れるバラ線等については降雪前に除去してほしい。

高借上除雪車の配置は十二月二十五日迄に行われます。

除雪センター長の名簿、電話番号は次の通りです。

12月1日現在 ホクレン相場

品目	規格	区分	価格(kg当り)	摘要	
初生統	加工用	生後1~2週間	枝	410	
	哺育用	50kg以上	生体		
肉用養牛オス	200~250	kg	生体	460~470	府県渡し価格
	251~300	"	"	480~490	"
	301~350	"	"	500~510	"
	351~400	"	"	520~530	"
	401~	"	"	530上	"
肉用養牛メス	200~250	"	"	500~510	"
	251~300	"	"	510~520	"
	301~350	"	"	520~530	"
	351~400	"	"	530~540	"
	401~	"	"	540~	"
廃用牛	ガリ物	枝		650中心	"
	中	パ		750中心	"

青年部だより

「乳牛の改良について」

の研修会開催

十二月十二日農協大会議室

農協青年部(中司哲雄部長)は、事業計画に基づき、十二月十二日(月)午前10時より農協大会議室において、「乳牛の改良について」の研修会を開く。

講師には、北海道家畜改良事業の団、道東事業所長、西尾登代氏を招いて講演をしてもらい勉強会をするのが目的で、青年部員はもちろん、乳牛改良同志会員、組合員の参加を望んでいる。

畜肉情報

畜産販売係

婦人部だより

第二十五回全道農協
婦人部大会報告

去る十一月十六、十七日の両日、登別市において、婦人部員千名余りが集まり、第二十五回全道農協婦人部大会が開催されました。

当農協からは事務局外五名が参加しました。

第一日目は、参加者全員が各分科会に分れて話し合いをしました。それぞれ分科会にでた報告と感じたことを組合だよりの紙面をもって、参加報告と致します。

今日問題になっている総合水田利用対策や、稲作地帯のあまり米についての意見が多かったです。またある減反された農家では野菜(そば、ビート、あずき、ばれいしよ、麦)等を作ってみたがどれもよくとれなかったといっていました。これに対して助言者が稲作転換農家が何を作たらいいかという問題に対して、ダイズが一番だということを書いていました。

第一分科会、組織強化と協同意識を高める部会 篠永ヨシ

稲作地帯で米があまって悩んでいる話しを聞いて、酪農地帯もこれから牛乳があまってくるのではないかと不安を感じてきた。また農家でありながら緑葉野菜を作っている所が少ないのではないかと話している所に対して、自分達の

①、②は婦人部活動を発展させ地域に根ざした協同活動に取り組むために、部員一人一人智恵と力を発揮する班活動を強めましょう。

③の問題は始めて出されたのですが、農協は経済団体でありますので、組合員の意志で平等で公平で、

班でも初めはちよつとした野菜しか作っていなかったが、生活改良普及員の指導のもとで、今ではハウスを利用してトマト、ナス、アジウリ、メロンなどたくさん野菜を作って、家族の皆に喜ばれているということを一言いってききました。

第三分科会 生活を守る部会 安達花枝

(1)農作業 交通事故を防ぐ生活環境について。

●農業者年金の勉強不足のためにもらえなかった実例もあるので、十分勉強するように。

●家計簿は最後まで記載できなくても、生活設計の樹立として必要にばかり栄養を与えないで、心にも栄養を与えることが必要だという誰かの言葉に、まったくその通りだと感じてきました。

●長期生活設計は若い内に心がけておく(趣味をいかす方法) 若妻の人達から姑さんの手前、会合などには出ずらいという発言があつたが、姑の立場としては、これから農業後継者として頑張ってもらわなければならないのだから、会合などには積極的に参加してもらいたいと思つた。以上が参加された方々の分科会報告です。

(2)健康を守る日常生活と予防対策について。

●健康を守る日常生活と予防対策について。

●即席食品の反対 おふくろの味、農村のイメージがない。物を大切にすること。

●即席食品の反対 おふくろの味、農村のイメージがない。物を大切にすること。

●人間ドックなどを一年に一回は受けて、健康な家庭を作りましょう。補助は町、農協から受けるようにしましょう。

●心身の文化を育てるところは家庭、挨拶は円満の秘訣。

●心身の文化を育てるところは家庭、挨拶は円満の秘訣。

●心身の文化を育てるところは家庭、挨拶は円満の秘訣。

(3)消費生活の協同活動について。

●消費生活の協同活動について。

●消費生活の協同活動について。

(4)農村福祉(農業者年金・労災)の充実について。

(4)農村福祉(農業者年金・労災)の充実について。

(4)農村福祉(農業者年金・労災)の充実について。

(4)農村福祉(農業者年金・労災)の充実について。

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

●部会のできている所ではいづれ

中 標 津 町 婦人国内研修に参加して

渡 辺 シ マ

- ④ みんなで新鮮な牛乳を飲用し、消費拡大につとめましょう。
- ⑤ 農業機械を大切にし投首効果を高めましょう。
- ⑥ 機械技術講習会などに積極的に参加し、事故のない生活環境をつくりましょう。
- ⑦ 家族ぐるみで年に一度は検診を受け、健康な家庭を作りましょう。

- ⑧ 若妻部会の農協婦人部組織での位置づけを再認識し、組織活動に積極的に参加しましょう。
- ⑨ 生活設計を樹立し、その一環である家計簿記帳をさらに進めましょう。
- ⑩ 農村の生活文化活動を定着、発展させるために、農協に生活指導員を設置するよう働きかけましょう。

五月二十三日、町長さん、教育長さん方にご挨拶して、岩谷次長さんに引率されて九時四十分の列車に乗りました。

駅には村田さん、樋木さん、たくさんの方々に見送られ参加者五名は研修地に向って出発しました。二十三日は列車泊、秋田には二十四日朝、八時四十分に着きました。駅で朝食をすませ、又汽車に乗り研修地大曲には、秋田から四、五十分で着きました。この大曲市は、生涯教育の盛な所で私達はその勉強に行きました。駅には、市役所の職員の方が迎えに来ておりました。案内された所が、(働く婦人の家)と言って公民館みたいな所でした。

働く婦人の家と言うのは、勤労婦人であれば誰でも利用出来ると言うことです。

私達が交流座談会をした部屋は、定員五十人はいれる大きな和室でした。見学しているうちに、出席される皆さんが来ました。

市婦連の会長さん、農協の部長さんはじめ連合団体に入っている会長さん方、七、八人見えられました。それから生涯教育センターの所長さん、働く婦人の家の館長さん、皆で十人ぐらいでした。

まず、生涯教育のお話を所長さんに聞きました。幼児、少年、青年、成人、高齢者教育と幅広くやっているようでした。大曲市の中に公民館が九カ所もあります。これを市民の方々が教育の場としております。

働く婦人の家の重点目標は、

- 一、気軽に利用できる体制づくり
- 二、自主活動の促進
- 三、婦人団体の育成と連絡調整

婦人の方々は一カ所でも出来る来ると言うことです。料理講習会から、講演会まで私は資料をよく見ましたが、よくこれだけの勉強が出来ると思心しました。

市婦連の行事は市全体の事で、大きな事だけ取上げているようです。又いづこも同じ役員になりてがないとの事で、皆さん年配の方ばかりでした。

生活改善はどのようにしていますかと聞いたら結婚式などは、招待制で七千円から一万円だそうです。それに会場がないとの事です。

中標津の(流れ)や活動内容を見てよくやっているとはめて下さいました。

市婦連や農協婦人部は助成が少ないので、農協婦人部はお米、野菜を作って資金稼ぎをしているそうです。なんの遠慮もなく、聞いたり、話したりして、ほんとうに勉強になりました。

大曲市の研修を終わり鳴子に泊りました。二十五日、鳴子を出発して東京に行きました。

上野に十六時三十分に着き、駅に岩谷さんの友達が迎えに来ていました。上野から四ッ谷に行き泊所の番町共済会館に着きました

二十六日は研修地神奈川県藤沢市の鶴沼公民館に行き、ボランティア活動について公民館長のお話しを聞きました。

若い人のためにドイツ語やフランス語の勉強をやっている。その外いろいろなことも、たとえば、書道とか、絵を書く人、フラワー、手芸もやいろいろな勉強をして、特技を身につけ、ボランティア活動としての講師になって、皆に教えるということでした。

藤沢は昔は農村地帯で、今は別荘地なので、裕福な方々ばかりなので、自発的にボランティア活動に参加するとのことで、小さい子供を預かって若い人達の学ぶ等級に協力するという事です。

鶴沼でも、公民館を学習の場として使うようでした。年に五回は社会参加の学習を受ける事。私達が研修した町はどこでも働く主婦のために、0才からの保育所がありました。

最後に中標津町の国内研修にたくさんの予算を出してくれて、うらやましいと言っておりました。

どこの研修地もあたたかく迎えてくれて本当に良い勉強になりました。

二十七日は、国民生活センターを見学しました。このセンターは国民生活に関する情報収集提供により国民生活の質的向上に役立つように努力しているようです。

国からの十二億の補助でやっているそうです。目を見はるばかりのすばらしさでした。

いろいろ勉強させていただきありがとうございました。



★★★ 井 済 組 合 キヨウサイクミアイ ★★★

共済連絡員会議

診療所運営委員会議開く

共済組合では去る十一月二十九日に共済連絡員会議、翌三十日に診療所運営委員会議を、いずれも共済組合の研修室を会場にして開催した。

ちょうど年末をひかえて、多忙な折ではあったが出席者は多く、両会議とも盛会であった。

会議では、まず上半期の共済事業の実績が報告され、今後の見通しや、日常の問題点など活発な意見が出された。

そこで、ここでは、上半期における共済組合の実績を表にのせてみました。

家畜共済の引受、死産事故の関係、病傷事故、それに人工授精事業について、それぞれ表にしてみました。



11月30日に開かれた診療所運営委員会

家畜共済引受関係

表 1.

畜種	地区	戸数	頭数	共済価額	共済金額	共済掛金	国庫負担額	組合員負担額	事務費賦課金	平均共済金額
乳牛雌	計根別	252	11,695	4,187,100千	1,677,893千	145,976,691	72,931,099	73,045,592	25,168,395	143,470
乳牛雌	中標津	317	12,533	4,404,200	1,761,197	153,224,139	76,528,202	76,695,937	26,417,955	140,524
他肉牛	計根別	6	157	51,050	20,548	883,564	441,782	441,782	308,220	130,878
一般馬	計根別	2	3	1,650	660	38,412	15,364	23,048	9,900	220,000
一般馬	中標津	22	32	12,070	5,092	294,054	117,615	176,439	76,380	156,000
合計		579	24,420	8,656,070	3,465,390	300,416,860	150,034,062	150,382,798	51,980,850	141,903

家畜人工授精調

52.9.30 表 2.

地区	頭数	基本料金	アンプル本数	アンプル料金	車輛負担回数	車輛負担金	合計金額
上半期実績	6,687	26,888,500	13,456	22,527,370	13,146	4,000,200	53,416,070
前年同期	6,234	24,958,000	12,251	16,641,130	11,844	3,577,500	45,176,630

死産事故

表 3.

区分	件数	共済価額	残存物価額	支払共済額	1頭平均支払共済金額
地区					
中標津	223	83,420 千円	19,468,250 円	25,486,395 円	114,286 円
計根別	243	89,410	28,336,000	25,110,457	103,333
合計	466	172,830	47,804,250	50,596,852	
前年同期	423	147,260	38,192,550	44,512,922	

病傷事故

表 4.

区分	件数	診療B総点	B限度超過	診療回数	1件当診療回数	1件当診療費
地区						
中標津	4,493	3,031,830 点	32,235 円	9,850	2.19	6,747 円
N雪印	464	291,489		1,168	2.52	6,282
計根別	3,733	2,420,999.5	130,640	9,041	2.42	6,485
K雪印	801	551,607.5		2,556	3.19	6,886
K明治	21	5,245.5		22	1.05	2,497
合計	9,512	6,301,171.5	162,875	22,637	2.38	6,624
前年同期	8,667	4,879,467	92,600	19,901	2.30	5,629

入院病棟の利用状況

家畜衛生研修会で発表

根室管内の家畜衛生研修会が去る十一月二十五・六の両日、弟子屈町の子宝ホテルを会場にして催された。

これは獣医師会根室支部と根室家畜保健衛生所が主催して開催したものだが、その中で当共済組合の入院病棟の使用状況が発表され注目を集めた。

これは、当共済組合の鈴木成



家畜衛生研修会で発表する鈴木成史獣医師

史獣医師が発表したものが、本年一月から十一月十一日まで入院畜三十二頭について、病気の種類、手術件数などをまとめたものである。

その内訳は別表にも示した通りであるが、一番多いのは、第四胃変位、続いて帝王切開、腸変位の順で入院している。

この中で、手当のかいもなく

廃用に出したものは二頭であった。

そのうちの二頭は、第四胃変位で入院した牛が、入院と同時に壊疽性乳房炎にかかっていることを発見、手術せずに廃用にしたもの。

もう一頭は、これも第四胃変位で入院したものであるが、金属異物が胸腔内にまで至っており、手術後も状態が好転しないので廃用としたもの。

以上二頭だけが廃用となったものの、その手術による治癒率は高く評価されていた。

産後起立不能症の予防注射薬について

最近全道的に多発の傾向にある産後起立不能症は当組合診療所管内でも一向に減る兆がありません。

当診療所では、本病に対応して数年前から「予防注射薬（薬品名デュファフルルD¹⁰⁰⁰）」を積極的に使用し、非常に良い予防効果をあげています。

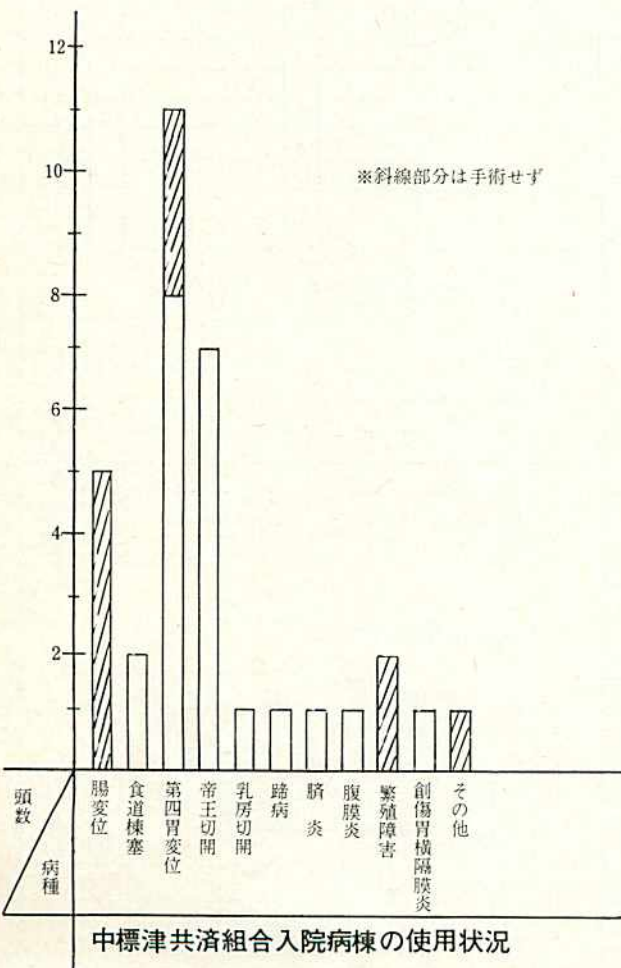
そこで、本年度当組合診療所では、損害防止の観点から、独自に予算を組み、この予防注射薬を購入し価格より安く頒布することになっています。

昨年まで1回分1,800円だったところを注射料も入れて1,300円（薬代だけは1,000円）でご利用いただけるわけです。

使用法は筋肉注射で、効果期間は24時間後から約7日間で、これの使用により9割以上の予防効果があり、不運にも発病した場合でも軽症で済みます。

やや肥り過ぎの牛、寝起きがだんだんつらそうになって来た牛、前歴のある牛など、安心して分娩を迎えるため予防注射の徹底に心掛けましょう。

(共済組合・診療課)



中標津共済組合入院病棟の使用状況

組合員名	上旬	中旬	下旬	組合員名	上旬	中旬	下旬	組合員名	上旬	中旬	下旬	組合員名	上旬	中旬	下旬
藤原勝一	0	0	0	山崎 翠	1	0	0	八木原明治郎	1	1	1				
秋山実太	0	0	1	藤田 貞蔵	0	0	1	中浦 健夫	0	0	0				
佐藤春行	1	1	1	藤田 誠一	0	0	0	前原 秀隆	0	0	1				
佐藤一二	0	0	0	剣持 幸男	0	0	0	町田 芳照	0	0	0				
清原由太郎	0	0	0	遠藤与畏二	0	0	0	房川 喜清	0	1	1				
湯山 稔	2	0	1	宮田 正晴	0	0	1	宮脇 正治	1	0	0				
湯山 幸男	0	0	0	鷺見 孝男	0	0	1	滝本 信孝	0	0	0				
三宅 要	1	0	0	真部 愈	0	0	0	富沢 保男	0	0	0				
門馬 四郎	0	0	0	渡辺 利秋	0	0	0	谷村 茂夫	1	1	1				
中塚 文夫	0	0	2	田代 良司	1	1	1	武田 三郎	0	0	0				
石原 竜雄	1	0	1	相沢 武雄	1	3	3	藤井 弘美	0	0	1				
西井 武	0	0	1	太田 俊昌	0	0	0	北村 一仁	1	1	0				
土井上友一	0	0	0	古瀬 敏弘	1	1	1	杉本 匡視	1	1	0				
土井上政雄	1	0	1	小谷 盛一	0	0	0	佐藤 載康	0	0	0				
小沼佐太郎	1	0	0	秋山 政雄	0	0	1	松本 金市	0	0	1				
熊谷 正	1	1	0	斉藤 富吉	0	0	0	飲野 一郎	0	0	0				
山本 雪信	1	1	0	広瀬 定夫	1	1	1	横田 国雄	0	0	0				
真野 米光	0	0	0	半沢 勇雄	1	1	1	竹下 日吉	0	1	1				
寺島今朝松	0	0	0	笠原 良夫	0	1	2	柳田 治郎	0	0	1				
佐藤 憲治	1	1	1	武田伊三郎	0	0	0	青木 喜三	0	0	0				
佐藤 忠男	1	0	0	後木 章	1	1	1	青木 重次	1	1	1				
佐藤 和夫	0	0	0	久保花次郎	0	0	0	関又左工門	0	0	0				
塩田 専治	0	0	0	松本 豊治	—	—	—	横田 好一	1	1	1				
五十嵐徳次	0	0	0	新井 真	0	0	1								
田中 清司	1	1	0	片野 博	1	1	1								
山本 秀夫	1	1	0	第二俣落地区											
安達 武蔵	0	0	0	西村 徳守	0	1	0								
志賀 安尾	0	0	1	保科 清	0	0	0								
志賀 正治	0	0	0	松岡喜代之助	0	0	0								
篠永 鉄雄	0	0	0	田代 昭	2	0	2								
俣落地区				井ノ口定則	1	1	1								
原 藤子	0	1	0	安江八五郎	1	1	1								
コ 大木敏夫	0	0	1	剣持 広昭	0	0	0								
コ 小林金司	2	1	2	斉藤 別	0	0	1								
コ 板橋松寿	1	1	1	白石 孝治	0	1	0								
バ 岩井 昇	2	1	1	山口 広幸	1	1	0								
バ 服部 一好	1	1	1	沖 一美	0	0	1								
バ 遠藤 太一	0	0	0	片岡 宅次	0	1	0								
バ 遠藤 幸吉	1	1	1	弾正原正春	0	0	1								
バ 高橋 正三	1	0	0	国光 昭	0	0	0								
バ 松村 晴由	0	1	0	遠藤 直行	0	0	0								
バ 小山 美芳	0	0	0	佐伯 証次	1	1	1								
バ 本村 正春	0	0	0	来栖 寛	0	0	0								
バ 菅原 清	0	0	0	川村 清身	0	1	1								
バ 上村 太平	1	1	1	加藤 繁	0	0	0								
バ 上村 政則	0	0	0	萩原 蝶七	1	1	1								
バ 上村 力	0	1	0	星野 昇司	0	0	0								
バ 松本 勇	0	1	1	星野 盛恵	2	3	2								
バ 藤原 信男	0	1	0	滝本 勇雄	1	0	0								
バ 遠藤 忠義	2	1	2	滝ヶ平初美	0	0	0								
バ 山下 鉄男	0	1	0	滝ヶ平 茂	0	0	0								
バ 阿部 幸一	1	0	0	滝ヶ平 妓夫	0	1	0								
バ 上ヶ島 春雄	0	0	0	内山 勲	0	0	0								

旬別個乳検査成績 (ランク別戸数)

ランク別旬	0	1	2	3	4	5	合計
上旬	192	104	18	0	0	0	314
中旬	194	106	12	2	0	0	314
下旬	180	113	20	1	0	0	314
合計	566	323	50	3	0	0	942
合格率	60.1	34.3	5.3	0.3	0	0	100

地区別個乳合格率

地区旬	当幌	中標津	俵橋	開陽	武佐	第二俣落	俣落	平均
上旬	100	100	100	100	100	100	100	100
中旬	100	100	100	100	100	98.0	97.8	99.4
下旬	100	100	100	100	100	100	97.8	99.7
月平均	100	100	100	100	100	99.3	98.5	99.7

11月乳質検査成績表

中標津農業協同組合

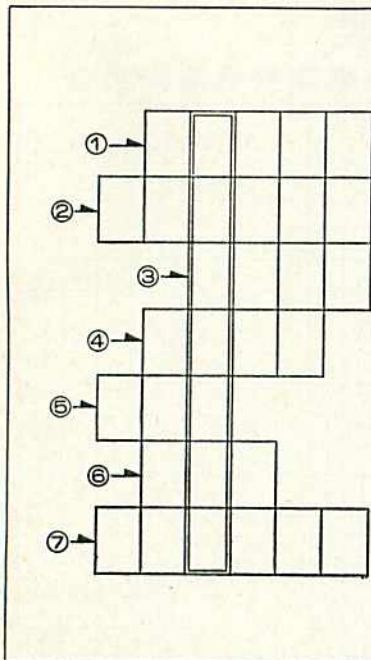
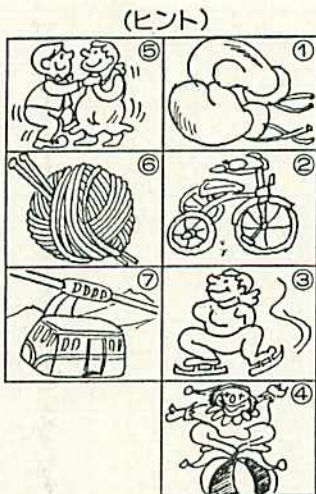
組合員名				上旬	中旬	下旬	組合員名				上旬	中旬	下旬	組合員名				上旬	中旬	下旬
当幌地区						バ	高藤祐蔵	1	1	1	バ	高橋一男	1	1	1	バ	大西英明	0	1	1
バ	飯島光五郎	0	0	0	バ	連田弘	1	1	1	バ	高平幸夫	0	0	0	バ	福島昭憲	0	1	1	
バ	飯島清一	0	0	0	バ	永谷雄幸	0	0	0	バ	中本要次郎	0	1	1	バ	下川原秀子	0	1	0	
バ	奥田勝佳	1	0	1	バ	長繩幸弘	1	0	0	バ	半沢かね	0	0	2	バ	三輪貞夫	0	0	0	
バ	奥田岩男	1	0	0	バ	麻郷地忠	0	1	1	バ	国見正雪	1	0	0	バ	西山一義	0	0	0	
バ	中山安寿	0	0	0	バ	麻郷地忠勝	1	1	1	バ	国見実	0	0	0	バ	佐々木武雄	0	0	0	
バ	山川健三	0	0	0	バ	小針晴信	1	2	2	バ	斉藤哲雄	0	0	1	バ	日下一芳	0	0	0	
バ	阿部俊勝	0	0	0	コ	佐藤吉次	—	—	—	バ	斉藤栄七	0	0	0	バ	石田春夫	—	—	—	
バ	鈴木吉三	0	0	0	バ	花川秀一	1	1	1	バ	伊藤七郎	0	0	1	バ	加茂正毅	1	1	1	
バ	西垣信男	2	1	1	バ	古沢亀治	1	0	1	バ	千葉清一	0	1	1	バ	佐々木政行	1	1	0	
バ	小原治	0	0	0	バ	花川稔	0	0	0	バ	村井直行	1	1	0	バ	三友盛行	0	0	0	
バ	吉田繁行	0	0	1	バ	今井秀和	0	0	1	バ	山崎正喜	0	1	1	バ	高島貞作	0	0	0	
バ	竹村満夫	0	0	0	バ	東原正広	0	0	0	バ	松本嘉吉	—	—	—	バ	福島信一	0	0	0	
バ	高橋常次	0	0	0	バ	岡部実	1	1	1	バ	後藤田信夫	1	1	0	バ	古田起雄	1	1	1	
バ	筒井留雪	0	0	0	バ	渡辺善行	1	1	1	バ	斉須安雄	1	1	1	バ	本田萌	0	0	0	
バ	筒井正守	0	0	0	コ	田島育三	—	—	—	バ	今井靖清	0	0	0	バ	中村敏夫	0	0	0	
バ	室井太吉	0	0	0	コ	竹村昇	—	—	—	バ	山田良太郎	1	1	1	バ	真野勇	0	1	1	
バ	安田康正	0	0	1	バ	松隈健二	1	0	1	バ	房川喜延	1	1	0	バ	多田俊夫	0	2	1	
バ	山田一男	0	1	1	コ	小林義忠	1	0	1	バ	笹淵二郎	0	0	0	バ	小岩正一	0	1	1	
バ	松田昌介	0	1	1	バ	古瀬イセ	0	0	0	バ	井上亮夫	1	1	0	バ	伏見哲	0	0	0	
バ	舟田正明	1	1	0	バ	藤本久雄	2	1	2	バ	笠井剛	0	0	0	バ	中川一平	1	1	1	
バ	菊地良	1	1	1	バ	小川清	1	1	1	バ	赤堀岩男	0	0	0	武佐地区					
バ	遠田要三	0	0	0	バ	佐藤道嘉	0	0	0	バ	鈴木敏夫	0	0	0	バ	丹羽孝	0	0	0	
バ	西山高蔵	2	2	2	バ	佐藤末美	1	1	0	俵橋地区				バ	丹羽正明	0	0	0		
バ	長正路正義	0	0	0	バ	佐藤拡	0	0	1	バ	名越成夫	0	0	1	バ	亀井泉	0	0	0	
バ	大野正己	0	0	1	バ	佐藤永雄	0	0	0	バ	佐藤清	1	1	1	バ	中司哲弥	0	0	0	
バ	吉成はな子	0	0	0	バ	佐藤東	0	0	0	バ	乾守夫	0	0	1	バ	上原徳保	1	0	0	
バ	福村守	1	1	0	バ	望月幸男	1	0	1	バ	乾勝美	0	1	1	バ	工藤政義	0	0	0	
バ	遠藤弘成	2	1	1	バ	白築政博	1	0	0	バ	伊東武	1	0	1	バ	舟橋清高	0	0	0	
バ	笠原金吾	0	0	1	バ	武田勇	2	2	2	バ	大山富雄	1	0	2	バ	酒井清志	0	0	0	
バ	唐崎幸司	1	0	0	バ	高橋敏夫	2	2	2	バ	山下孝二	0	0	0	バ	目黒雅隆	0	0	1	
中標津地区						バ	熊倉彦吉	0	0	0	バ	北川栄治	0	0	0	バ	千葉弘	0	0	0
バ	綏坂欣一	1	2	2	バ	小林茂雄	0	0	1	バ	水本勘蔵	1	0	0	バ	工藤剛	0	0	0	
バ	綏坂恭民	1	0	1	バ	阿部正六	0	1	1	バ	水本一三	1	1	0	コ	児島喜一	1	0	2	
バ	吉川晴久	0	0	0	バ	佐藤三男	0	0	0	バ	山本正八	0	0	0	バ	児玉光彦	0	0	0	
バ	滝場光明	1	1	1	バ	長淵貞義	2	1	1	バ	榎田英雄	2	1	0	コ	坂口亀一	2	1	2	
バ	久保慶一郎	0	0	0	開陽地区						バ	穴吹貞明	0	1	0	バ	白田穰	0	1	1
バ	久我良夫	0	0	0	バ	土井上昭男	1	1	1	バ	佐藤正男	0	0	0	バ	新谷正二	0	0	0	
バ	正城純一	0	0	0	コ	向館金吾	1	0	1	バ	佐々木文作	1	2	1	バ	井口精一	2	1	1	
バ	荒昭一	1	1	1	コ	山田輝男	2	2	2	バ	野口忍	0	0	0	バ	川上茂	0	2	0	
バ	桜井誠造	1	0	0	コ	船越政雄	1	1	1	バ	太田功	1	2	0	コ	石橋喜作	—	—	—	
バ	佐々木繁雄	1	0	1	コ	浅野トミ子	1	1	1	バ	岡次郎	0	1	0	バ	長谷川寿	0	0	0	
バ	佐藤晴信	0	0	1	バ	吾妻寅男	0	0	0	バ	金子安有	0	0	0	バ	花尻武夫	1	0	0	
コ	奥村武雄	1	1	2	ゴ	鈴木嵩	1	1	1	バ	高野勇	0	0	0	バ	中条由治	0	0	0	
コ	阿部忠次郎	1	1	1	バ	桜井精治	1	0	1	バ	中林勇	0	0	0	バ	中条幸作	0	0	0	
バ	三森章司	1	0	1	コ	横田孝博	—	—	—	バ	工藤隆弘	1	2	2	バ	奥村保章	1	1	2	
バ	川手輝雄	1	0	1	バ	高橋寅之助	0	0	0	バ	赤江雪右門	0	0	0	バ	萱岡信二	0	0	0	
バ	下山恵市	0	0	0	バ	中本栄太郎	1	1	1	バ	沢口正志	1	1	0	バ	高橋昌信	1	1	0	
バ	石崎多門	0	0	0	バ	丸田良夫	0	0	0	コ	目黒茂	0	0	0	バ	中塚秀夫	0	1	1	
バ	林仁一郎	1	1	0	バ	鈴木重蔵	0	0	1	バ	大西秀良	1	1	0	バ	黒田定利	2	2	0	

くいきず???

あなたもやってみよう

解き方

ヒントの絵(①~⑦)に関係のある言葉を、マス目の中に入れてから、二重ワクの七文字を上から下へ読むと、ある言葉ができます。その言葉だけをハガキに書いて送ってください。



★応募規定★

- ① 官製はがきに答えを書いて送ってください。
 - ② 氏名・年令・住所
 - ③ 対象 小・中学生
 - ④ 宛先 中標津町東七条南二丁目 中標津農協 組織農政係
- ※ 正解者十名に記念品贈呈、正解者多数のときは、抽選で決めます。
- 十一月号の正解は「キクニンギョウ」でした。次の十名の方に記念品を差し上げますので農協へとりに来て下さい。
- △ 依橋 亀代由香里さん、△ 共成 高野陽子さん、△ 南依橋 眞野勇一君、△ 新開陽 笠井一路君、△ 南開陽 伊藤恵美子さん、△ 西武佐 清原孝志君、△ 南武佐 寺島孝君、△ 東武佐 安達政宏君、△ 南侯落 遠藤富美子さん、△ 高嶺 横田八千代さん。

根室税務署だより

◎ マイホームと税金

▲ 登録免許税

土地や建物の所有権移転などの登記をするときにかかる税金で、不動産の価額(原則として固定資産税の評価額)に次の税率をかけた計算します。

暮しのアイデア

クレープの包み

(4人分)

小麦粉と卵と牛乳で作ったクレープの皮で、クロッカケの材料を包んで揚げたもの。クレープの代わりに市販の春巻きの皮を使ってもよいでしょう。

小麦粉六十g、牛乳一カップ、卵一個、バター十五g、塩小さじ半分をよく混ぜ合わせて約三時間おいてから、あわ立て器で混ぜ合わせます。

フライパンに油をよくふき込ん

で、玉じやくし大きじ一を流し込み、全体に広げ弱火にして焼きます。周囲がはがれて来たら裏返してさっと火を通して取り出します。八枚焼きます。玉ねぎ五十g、ハムの薄切り百gをそれぞれみじん切りにし、バター小さじ一でいため、パセリのみじん切り大きじ一を混ぜ合わせます。小麦粉大きじ二、バター十g、牛乳一カップで固めのホワイトソースを作り、先の具と粉チーズ大きじ二を加え、冷めたら八等分します。

これをクレープの皮の中央に置き、ふろしきのように包み、小麦粉、卵液、パン粉の順につけ、百六十度の油でからりと揚げます。ジャガイモ二百gで粉ふきイモを作って添え、器に盛りつけます。

所有権移転登記(売買) 五%

所有権保存登記 〇・六%

なお、新築住宅の移転登記や保存登記で、一定の要件に該当する場合は、それぞれ税率が〇・二%に軽減されます。

▲ 住宅取得控除

自分が住むために住宅を新築したり、新築住宅を購入し、その住宅に入居したときで一定の要件に該当するときは、入居した年から

三年間、年額で最高三万円(床面積三・三平方メートル当り千円として計算します)が、所得税から控除されます。

この控除を受けるためには、所定の書類を添付して確定申告することが必要です。

ただし、サラリーマンの方は、一年目に確定申告をすると、二年目、三年目は年末調整の際に控除を受けることができます。